

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55°C ~ +125°C (95%RH MAX)	保存温度範囲	-55°C ~ +125°C (95%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50Ω ( 0 ~ 18 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	0.141インチミリジットケーブル相当	
<b>性 能</b>					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 4 mΩ以下 外部コネクタ 4 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC1000Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比	周波数 $\triangle 0 \sim 12.4$ GHzにて測定する。 12.4 ~ 18 GHzにて測定する。	V SWR 1.05+0.015f [f:GHz] 以下 1.3 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 ~ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
機 械 的 性 能	単 体 挿 抜 力	$\triangle \phi 0.9017_{-0.0025}^0$ の鋼製ピンで測定する。	差込力 N以下 引抜力 0.3N以上 $\triangle$	—	—
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	差込力 N以下 引抜力 N以上	—	—
	繰 り 返 し 動 作	1000 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 6 mΩ以下 外部コネクタ 6 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ~ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s <sup>2</sup> で 3 軸方向各 4 時間 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 1960 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	98 N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	○	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (高温時) ② 絶縁抵抗: 5000 MΩ以上 (乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -65 → -- → +125 → -- °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
$\triangle$	$\triangle$ の数	訂正記事	設計	検図	年月日
1	5	DIS-D-00004133	KY. SHIMIZU	TO. KATAYAMA	20190607
備考	$\triangle$	試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (JIS C 5402) を適用している。		承認	20090324
				検 図	20090324
				担 当	20090323
				製 図	20090323
注	QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-007204-09-09	
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	HRM-102S (09)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL323-0131-7-09	$\triangle$ 1/1